

2015年3月期 第2四半期

業績総括 及び 事業方針

Happiness Grows from Trees

2014年11月7日 住友林業株式会社

代表取締役社長 市川 晃

目次

1.事業環境	2ページ
2.2015年3月期 第2四半期実績	3ページ
3.2015年3月期 通期予想	4ページ
4.中期目標について	5ページ
5.木材建材事業、戸建注文住宅およびアパート事業	6ページ
6.ストック住宅事業他 国内事業	7ページ
7.海外事業	8ページ
8.株主還元	9ページ

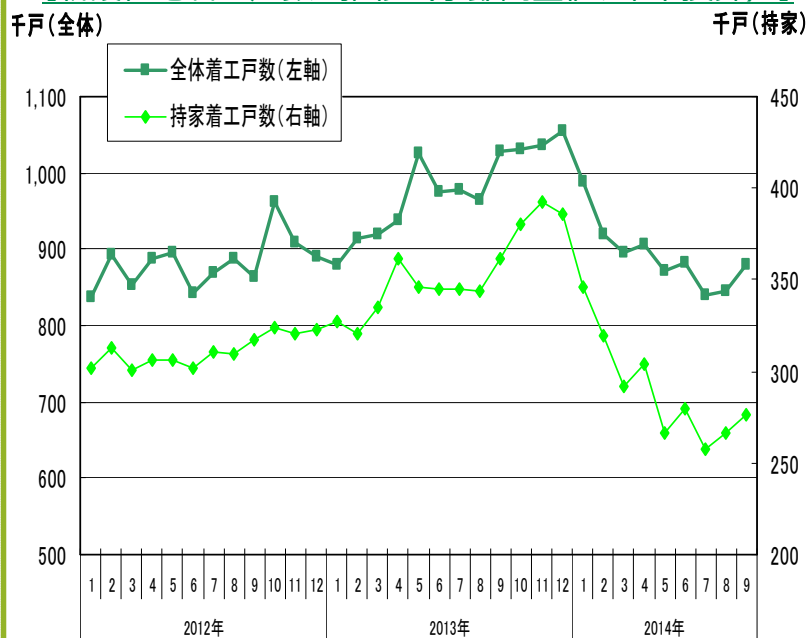
事業環境

想定以上に国内住宅市場は低迷

国内

- 消費増税の反動減の影響は想定より大きく、景気回復のテンポは遅れている。
- 特に住宅市場において、反動減のマイナス影響が長引いている。

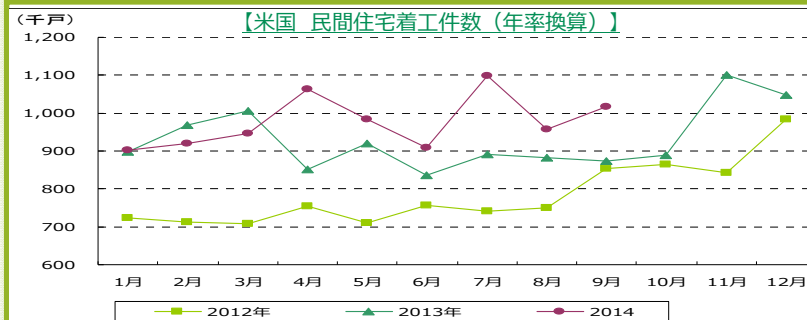
【新設住宅着工戸数の推移（季節調整値、年率換算）】



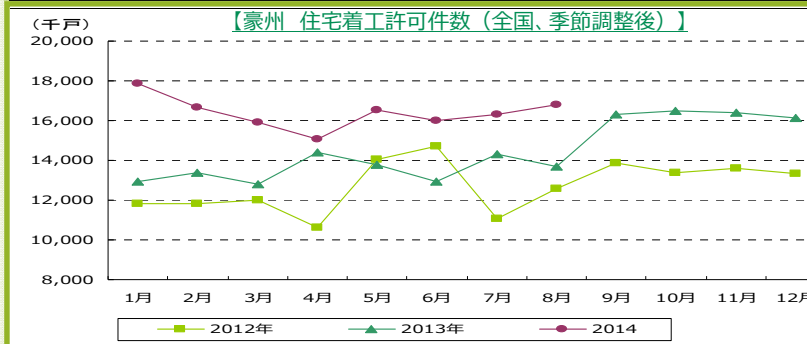
海外

- 米国経済は好調に推移。
- 豪州の景気は減速がみられるものの、低金利のもと、住宅投資は堅調。
- ウクライナや中東、香港において地政学的リスクが顕在化しており、景気下振れリスクがある。

【米国 民間住宅着工件数（年率換算）】



【豪州 住宅着工許可件数（全国、季節調整後）】



2015年3月期 第2四半期実績

海外事業の伸長等により、好調な結果

＜売上高＞

- 新設住宅着工戸数の減少に伴う木材建材事業の減収分を、好調な海外事業と、前期の駆け込み需要による受注の完工引渡しが進んだ住宅事業がカバーして、全体としては増収。

＜経常利益＞

- 豪州・米国で住宅事業を行うHenleyグループの連結子会社化や、M&A効果等で好調な海外事業の増益効果に加え、住宅事業の増収に伴う増益により、全体でも前年実績を上回る。

2015年3月期 上期実績

(単位:億円)

(連結)	14/3期 上期	15/3期 上期	前期比
売上高	4,349	4,696	+8.0%
営業利益	103	122	+18.4%
経常利益	108	133	+22.8%
四半期 純利益	111	73	△34.3%

2015年3月期 通期予想

全体の通期予想は期初予想を据え置き

<通期予想>

- 上期は好業績であったものの、足元の国内の市場環境や受注動向を考えると、住宅事業を中心に下期業績は厳しくなる見込み。
- 足元の受注状況を踏まえ、15/3期の受注予想及び販売予想を引き下げる。
 (戸建注文住宅 受注・販売予想)
 受注棟数 9,000棟→8,500棟
 販売棟数 9,000棟→8,700棟
- 国内住宅市場の落ち込みを海外事業が補うことで、通期予想を据え置く。

2015年3月期 通期予想

(単位:億円)

(連結)	14/3期	15/3期 予想	前期比
売上高	9,730	9,900	+1.8%
営業利益	334	310	△7.2%
経常利益	336	320	△4.7%
当期 純利益	225	180	△20.1%

中期目標について

事業環境の変化に強い、安定した収益体制の確立を目指す

2011年3月期実績

新設住宅着工戸数	82万戸
持家着工戸数	31万戸
戸建注文住宅販売棟数	8,721棟
連結売上高	7,975億円
経常利益（数理差異除く）	170億円



2015年3月期通期予想

新設住宅着工戸数（予想）	86万戸
持家着工戸数（予想）	30万戸
戸建注文住宅販売棟数（予想）	8,700棟
連結売上高（予想）	9,900億円
経常利益（予想）	320億円

主力事業の収益力向上

売上高1兆円

経常利益300億円

体制の確立

成長事業の拡大加速



木材建材事業、戸建注文住宅およびアパート事業

特性を活かし、市場変化と顧客ニーズに対応

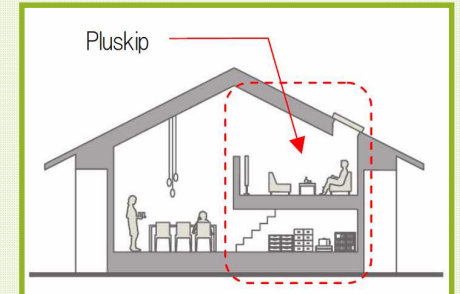
木材建材事業

- 効率性を維持するとともに、新たな市場を開拓し事業基盤を強化。



戸建注文住宅事業

- お客様のニーズにあわせた商品戦略を展開。
- 高いデザイン性など住まいづくりへのこだわりが強いお客様に対しては、DPG（デザイン・パートナー・グループ）等による対応を強化。
- 平屋建て商品や、女性目線の商品等、多様なニーズに合わせた商品を提供。



アパート事業

- 相続税対策のニーズを着実に汲み取り、高品質な商品提案で他社との差別化を図る。



ストック住宅事業他 国内事業

ストック住宅市場の潜在需要は大きい

リフォーム事業

- 住宅市場が低迷しているなか、リフォーム事業において、大型物件を中心に受注が伸び悩む。
- 今期の受注および完工予想は、期初予想から引き下げ。
- 潜在的なリフォーム需要は大きい。
- 技術力を活かすとともに、マンションリフォームにも注力。

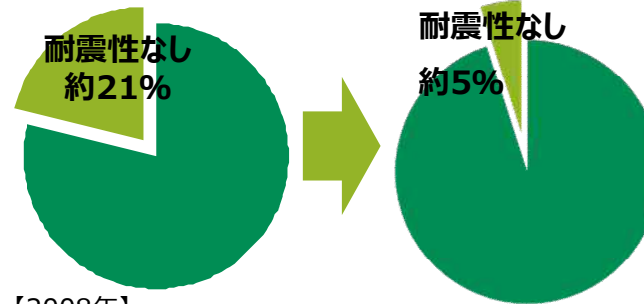
(単位:億円)

	14/3期	15/3期 期初予想	15/3期 予想
受注金額	610	650	590
完工金額	593	640	582

戸建住宅ストック
約 **2,860万戸**
このうち、
木造が**90%超**

出典：総務省「平成25年
住宅・土地統計調査」

【住宅ストックの耐震化 政府目標】



【2008年】
耐震基準が改正された1981年
以前の旧耐震基準の住宅は
21%の約1,000万戸と推計

【2020年】
住宅の耐震化率を約95%へ上昇
※ 国土交通省資料を参照



<マンションリフォーム>

木化事業

- 大規模木造建築物の技術開発とノウハウ蓄積を着実に進める。



<工場施設>

バイオマス発電事業

- 川崎、紋別に続き、苫小牧において、他社と共同でのバイオマス発電事業に出資参画。



<川崎バイオマス発電>

海外事業

米国及び豪州住宅事業が業績を牽引

資源・製造事業

- 高品質な商品を安定して提供することで、差別化を図る。
- 生産性改善とコストダウンを行い、新興国や成長市場でのプレゼンスを高める。



＜ベトナムPB製造事業＞

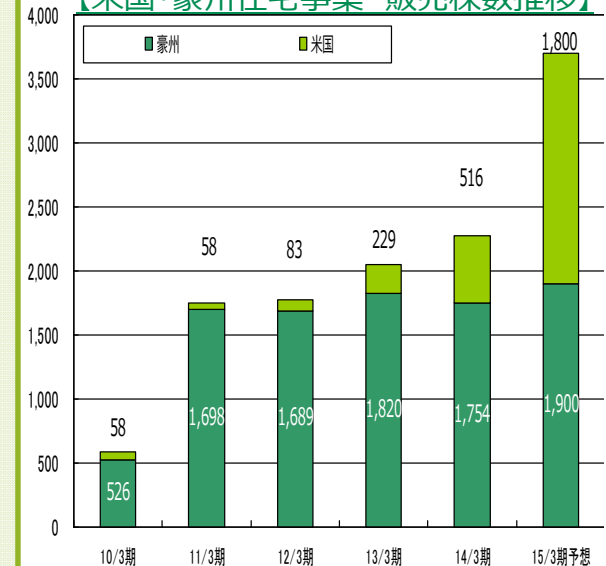


＜インドネシア合板製造事業＞

住宅・不動産事業

- 米国および豪州住宅事業が好調に推移。
米国は、好調な住宅市場を背景に、グループ会社各社とも業績が好調で、通期販売予想を引き上げる。
- Henley社は、合理化を進め収益性が向上している。
- リスク管理にも注意しつつ、事業拡大を進める。

【米国・豪州住宅事業 販売棟数推移】

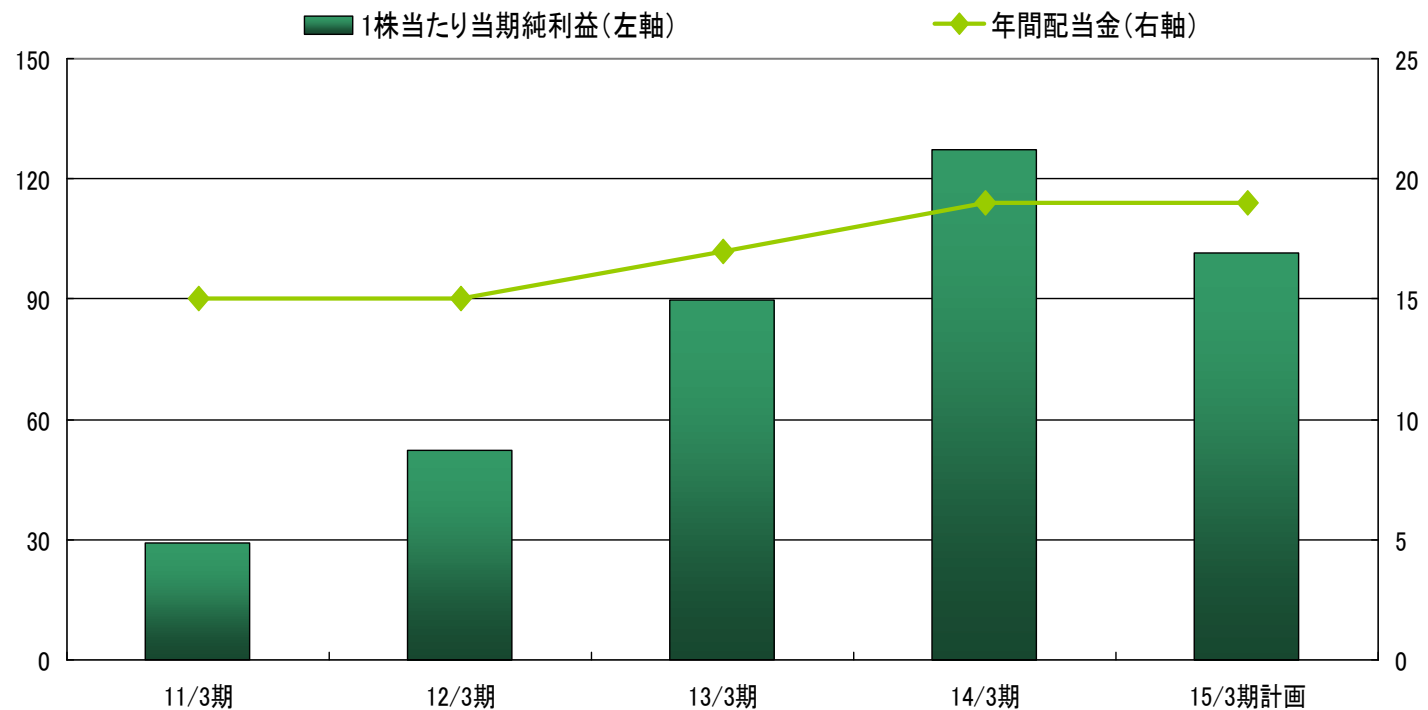


株主還元

安定配当を継続

株主還元策

- 中期目標の達成へ向けた途上であるため、同額配当を継続。
- 配当については、収益水準や内部留保の状況、今後の事業展開などを総合的、長期的に勘案し、継続的かつ安定的に行うことが基本方針。



木と生きる幸福

住友林業グループ

ご清聴ありがとうございました。